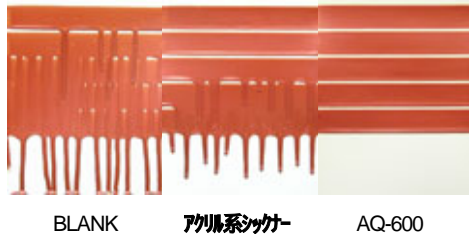


5. ディスパロンAQ - 600シリ - ズの効果

アクリルエマルジョン樹脂NeoCryl A - 639[AVECIA]とレッドパール(IRIODIN504)[MERCK]を用いた塗料にAQ - 600及びアクリル系シクナーを加え(固形分: 0.37%)ダレ・沈降防止試験(65KU)を行った結果です。パール顔料に対して良好なダレ防止・沈降防止効果付与が確認できます。(写真 - 1, 2)



(写真 - 1)



(写真 - 2)

6. ディスパロンAQ - 600シリ - ズの効果

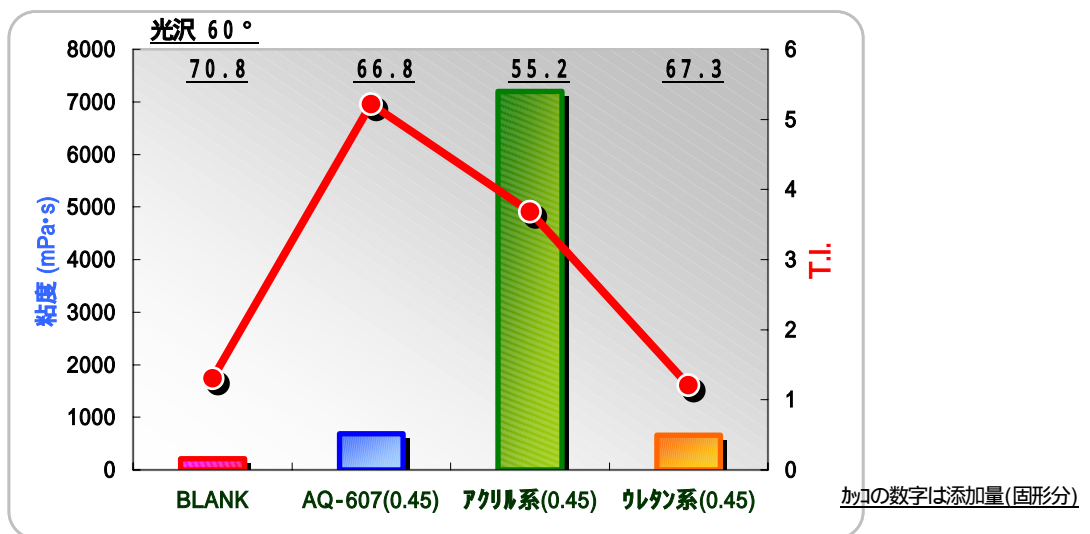
木工用アクリルエマルジョン樹脂NeoCryl XK - 15を用いた白塗料配合のミルベースにディスパロンAQ - 607 / ミルベース = 2 / 8の比率で作製したプレゲル(予備分散物 2500rpm-20分)を添加し塗料化しました。(表 - 3)

塗料の粘度・T.I.(チクソトロピックインデックス)・光沢(60°反射)及びダレ防止性をアクリル系・ウレタン系シクナーと比較した結果を見ると、ポリアמיד系であるAQ - 607は低増粘、高T.I.の特性と優れたダレ防止性効果があることがわかります。

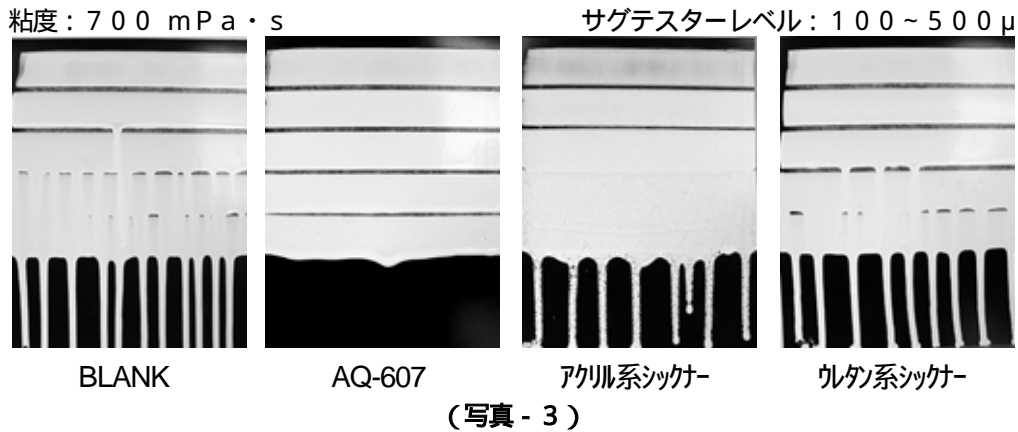
(図 - 2)(写真 - 3)

Mill Base	
Water	3.5
Propylene Glycol	2.5
2-amino-2-methyl-1-propanol	0.2
METOLAT FC530(30%)	6.9
AGITAN 760	0.02
Surfynol 104H	0.4
R-900 (TiO2)	18.0
	31.52
Let down	
NeoCryl XK-15	60.0
Butyldiglycol	1.5
Total	93.02

(表 - 3)



(図 - 2)



7. ディスパロンAQ - 600シリーズの効果のまとめ

前述5.6.項の結果より特筆すべき効果として；

メタリック塗料の配向性、沈降ダレ防止性に優れる。

アクリル・ウレタン系シクナーに比較し低増粘・高T.I.の特性を持つ。

光沢低下が極めて少ない。

等が挙げられます。

8. ディスパロンAQ - 600シリーズの添加方法

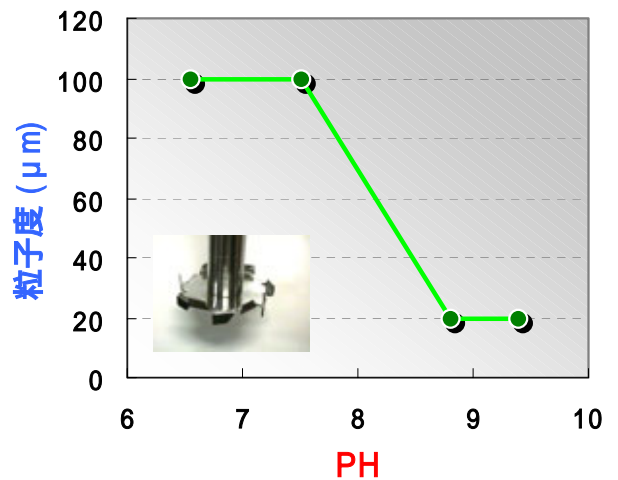
AQ - 600シリーズは固形分により多少の固さの差はあるものの、黄褐色の軟ペーストでありディゾルバー等の攪拌分散機で比較的簡単に分散可能です。更に予め水等に分散した予備分散物（プレゲル）を作製して添加する事で分散・効果共良好な結果が得られます。

エマルションの分散性、チクソトロピー効果はpHの影響を受け易く、(図-3)の例ではpH8以上で急激な粒子度変化が見られます。エマルション樹脂の種類にもよりますが、pHは8以上に調整する必要が有ります。

また、助溶剤としてブチセロ等の両親媒性溶剤を10%以下併用する事で沈降防止効果をアップすることも可能です。

ディスパロンAQ - 600シリーズの効果を十分に発揮させるポイントを挙げると以下ようになります。

- (1) 添加する塗料系のpHは8以上に調整する。
- (2) ブチルセロソルブ等の助溶剤を10%以内、可能であれば加える。
- (3) AQ - 600シリーズの予備分散物（プレゲル）を作製し添加する。
(配合例：AQ - 607 / 水 = 15 / 85 ディゾルバー分散)



(図 - 3)

以 上